

12 月 4 日 : VN 指数は引き続き軟調 (VN-Index -0.75%)

- 昨夜韓国の尹大統領により戒厳令が発令されたことが不安視され、本日の VN 指数は大幅安で開始した。
- 勢いが弱まらずに下落を続けたものの、1240 ポイントの抵抗線付近で数回反発した。
- 後場でも下落基調は払しょくされず、売り圧力は引けにかけてさらに強まった。
- 本日の下げを主導したのは小売、金融セクターであった。一方で、資本財・サービス、メディアセクターが下支えした。
- 109 銘柄が上昇、281 銘柄が下落、65 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は前日比 10.9%減の 13.9 兆ドンであった。

VN30 指数は相場の動きを下回る (VN-30 -0.87%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、5 銘柄が上昇、25 銘柄が下落した。
- SAB (+2.14%)のみが 1%を超える上昇を記録した。
- 下落銘柄は多岐にわたり、MWG (-2.84%)、POW (-2.77%)、VRE (2.26%)の下落が特に目立った。

セクター・個別株の動き

- PC1 (-1.08%)の取締役会は、フィリピンにおける子会社に 99.98%の出資を行って設立することを承認した。同社は現地法人と契約を締結し、マニラでの発電所プロジェクトを前進させることを目的としている。
- VTP (+6.27%)は VIPO Mall と呼ばれるホールセール向けの EC サイトをオープンすることを明らかにし、株価は上昇した。このサイトではベトナム・中国の両国からの商品を取り扱うとしている。
- 外国人投資家は 6,460 億ドンの売り越しとなった。MWG (-2.84%)、FPT (-1.03%)が本日の売りの的となった一方で HAH (+4.49%)は買い越しとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。